



# 生活弱者にさらなる支援を

遠藤 宏司 議員

## 多額の財政負担は困難

町 長



入学するにもお金がかかる

**児童生徒の入学対策**  
 非正規労働者やひとり親世帯が増加する中(※)エンゲル係数が上昇するなど、生活困難世帯が増えている。保育料や給食費、高校生までの医療費など、負担の軽減を図る子育て支援の強化をできないか。町長 多額の財政負担を伴うことから、難しいと考えている。

※エンゲル係数  
 家計の消費支出に占める飲食費の割合のこと。エンゲル係数の値が高いほど生活水準は低いとされている。

にとつて、小学校や中学校への入学が、不安や苦痛にならないよう、事前に増額した就学援助はできないか。教育長 増額改定した旨、県を通じて通知があった。差額については、町長部局と協議の上、補正予算での対応について検討したい。

**必要な介護サービスを**  
 介護予防・日常生活支援総合事業が4月から始まるが、介護サービスを後退することのない事業計画にすべきと思うが。町長 現在と同水準のサービス内容と利用料金を設定するつもりでいる。



介護サービスで安心

**申請方式を見直せ**  
 要介護者で障がい者控除または特別障がい者控除を受けられる方には、認定書を郵送などで届け、申請なしに受けとられるようにすべきではないか。町長 従前どおり申請方式により対応したい。

**国の支援を活かせ**  
 国民健康保険事業で保険給付費へ国の支援があり、町の国保会計では平成28年度は積立金のほかに大幅な赤字が見込まれている。一般会計からの繰り入れて、保険料を引き下げるべきではないか。町長 繰り入れについては基準額以外には困難と考える。

# 町の考えを問う



## 5議員が一般質問

小玉 勇 議員

- ◆住民のサポートのため今後必要となるボランティア組織や制度を、町が主体となつてつくることはできないか
- ◆危険空き家の撤去はいつ始めるのか

15ページ

**一般質問とは…**  
 議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質すことをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では5議員が一般質問を行いました。

村形 昌一 議員

- ◆空き家バンク制度の実績と課題は
- ◆定住対策を進めよ
- ◆人口の社会減の改善を図れ

16ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆要保護者等への援助の拡大を
- ◆要支援者へのサービスの充実を図れ
- ◆国民健康保険税の引き下げを

13ページ

大山 二郎 議員

- ◆町民交流センターの運営計画と財政計画を示せ
- ◆今後の流雪溝整備計画をどう考える

17ページ

齋藤 公一 議員

- ◆定住対策の取組み状況と成果は
- ◆大橋、丹生川橋の歩行者の安全確保を図れ

14ページ